

# 榎ノ木

第九号

平成26年10月10日発行  
青壮年部女性部広報  
題字：大内翠峰

『榎ノ木』の題字は大内会長の書です。

## 大内新会長就任 日々変化・日々前進



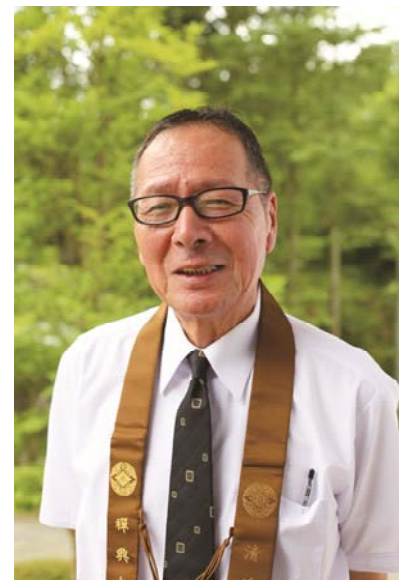
### 「いあい」

花園会 青壮年部・女性部会長

大内 静雄

この度の役員改選にあたり、はからずも会長という大役をお引き受けすることになりました。どうぞよろしくお願い致します。

さて、発足以来今日までお導き下さいました石垣英孝前会長始め前役員の皆様本当にご苦労様でした。幸いにも多くの役員の方々に、何らかの形で今後も役員としてごまっけて頂くことになりました。誠に心強い限ります。



新会長は雅号「大内翠峰」  
県芸術協会会員・書道芸術院  
総務審査会員の前衛書道家

『変化に適応性を持って、変化を恐れるならば絶え間ない変化は脅威となり、変化をチャンスと捕えるならばそれは人間のチャンスともなる。』これは行商より身を起し、現在のチェーン店形態を確立した当地方出身の偉大な企業家の言葉である。

刻々変化しており、それらに的確に対処して行かなければなりません。新体制は五里霧中・前途多難を予感させられますが、当初の理念を継承しつつ、会員一同結集し、一歩一歩歩んでいく所存です。関係各方面に尚一層の御指導と御協力をお願い致します。就任の御挨拶とさせていただきます。

平成26年6月3日に開催された青壮年部・女性部の総会において、会発足より会長職を務められていた石垣英孝会長が、禪興寺総代に選任されたことに伴い、慣例により会長を勇退されました。

その後、役員改選により研修部長を務めていた金取南地区の大内静雄さんが満場一致の承認を得て、青壮年部・女性部二代目会長に選任・就任されました。

ねはんえ  
涅槃会に参加しました



(左) 涅槃図 (明治43年檀信徒寄進) と  
(右) 仏足跡

金取北 浅井 茂

本年2月15日、禪興寺本堂において「涅槃会・筑前琵琶演奏会」が開催されました。

皆さんもご存じのとおり「涅槃会」とは、お釈迦様の命日に行われる、遺徳追慕と報恩のための法会です。

当日は総代さんを始め多く檀信徒、青壮年部・女性部会員、一般の方々が参加されました。法会では御住職よりお釈迦様の生い立ちと、八十歳で亡くなられる時のお話を「仏涅槃図」を前にしてお話をしていた

いただきました。

図には沙羅双樹の下で、お釈迦様が頭を北に、顔を西に向け、右手を枕にして横臥し、周囲の十大弟子を始め、老若男女、鳥獣さえも嘆き悲しみ、百獣の王である獅子まで、天を仰いで慟哭している様子が描かれています。

臨終での最後の説法は「世は無常であり、会う者は必ず別れねばならぬのがこの世の定め。怠ることなく精進せよ」が最後の教えだったそうです。

結びに任職は「私たちは時として

変わらないものを望むが、そんな私達自身変わっていく。今日という一日を一生懸命生きぬくことの大切さ」を教えていただきました。

法会の後には、琵琶奏者として世界的に活躍されている田中旭泉さん

また、御詠歌支部による奉詠や女性部からのおいしいお汁粉もいただきました。至福の一日でした。

## 諸行無常の響きあり

### プロフィール

田中 旭泉 (きょくせん) 氏

筑前琵琶 橋流 日本橋会師範

いづ美會会主 人間国宝山崎旭萃師匠直弟子

文部大臣奨励賞・NHK会長賞他多数受賞

妙心寺派岐阜東教区明鏡寺寺庭婦人

今回は、禪興寺のほか仙台臨濟会、被災地寺院七ヶ浜町同性寺幼稚園、塩釜市慈雲寺にて、ポラ

ティア復興支援演奏をされました。



禪興寺開山法身性西禅師由来の曲目

# 子育て水子地藏祭り・降誕会(花祭り)

## いつも心に おかげさま

ごつたんえ

沢渡 早坂 孝子

去る5月19日若葉も色鮮やかに風薫る日和の中、花まつり・子育て水子地藏祭りが行われました。

絵馬奉納、御詠歌奉詠、大震災犠牲者供養、そして花まつりでは甘茶をかけて、お釈迦様の誕生を祝いました。

また、大本山巡教師、白鳥天海師より「おかげさま―父母の恩―今ここ私のいのち」と題して法話を頂きました。



子供は地域の宝、健やかな成長を祈念



大本山からの言葉を心身に刻む

「心の窓、心の目を開きなさい。」

『おかげさま、ありがとご』と感謝するだけでなく、自ら顧みて、『すみません』と少しでも、ご恩に報いる事が大切だと・・・。」

心にしみる言葉でした。

今年度から地区の子育て水子地藏世話人となりました。皆様と一緒に美味しい弁当を頂きながら、楽しく穏やかな時間を過ごすことができ、「おかげさま」と改めて感じたい一日でした。

遙かなるモンゴルの

「大草原の響き」を聴く

佐藤 彰

流暢な日本語でユーモアを交えながら演奏者の紹介があり、四人は身内の家族音楽グループで、楽器の「馬頭琴」製作もされ、教室も開催しているそうです。

「サン・バエノー」(ごんにちは)とモンゴルの挨拶と民族衣装で身を包み、女性を含む四名の演奏者が本堂に登場されました。

代表のエルテネライさんは、一見大相撲の白鵬に似ている風貌で、笑顔が親しみと優しさを感じさせる方です。

楽器の竿の頂部には、馬の頭のモチーフが施されており、ピアノの原型になったそうです。驚いたのは咽と鼻で大自然の中の音を表現したホーミー(一人二重唱)です。

目を閉じて聞いていると、大草原の中で自然と一体になって暮らしている雄大なパノラマと、馬に乗って駆け抜けているような風景が浮かんできます。



大自然を感じる馬頭琴の音色と、大内会長の題字

モンゴルの曲の他日本の名曲「川の流れるように」や「上を向いて歩こう」など、約十曲を演奏されました。大震災の被災者復興支援のお話などを交えた約一時間は、瞬間に過ぎてしまいました。心の洗濯をしたような悠久の時間を頂いたことに感謝いたします。

台筆

# 女性部研修旅行 山形自慢をめぐる旅



バラよりも美しく咲き誇る女性部一同

終始笑いの絶えなかった研修

反町下 堀籠日出子

6月29日(日) 梅雨とはいえ、昨夜からの大雨で、さぞかしがっかりしているかと思いきや、悪天候などなんのその元気いっばいに出発しました。

「山形県は晴れだといいいね」の声に、住職さんから「皆さんのパワー

で雨雲を吹き飛ばしてください」と励まされ、一路山形県に向かう。

関山トンネルを抜けると、なんと雲の間から青空が見えてるではありませんか。皆さんのパワーが天まで届いたのでしょね。賑やかな車中を過ごしながら、最初の見学地慈恩寺に到着。

慈恩寺は開山千三百年の年に当たり、特別御開帳の時期に参拝できたことは貴重な体験となりました。

二ヶ所目は待ちに待った「魅懐石料理」で昼食。魅懐石とは思えない美味に「私にも…かも」と下心を持ちながらお土産を購入。

三か所目は「私たちのほうが綺麗よね」とチラホラ聞こえたような気がした東沢バラ公園を散策。

暑かったですね。

最後は、チェリーランド寒河江で休憩。玉こんにゃく、ソフトクリームを食べる人お土産を買う人それぞれでしたが、笑顔は皆さん一緒でした。

帰宅車中ではビンゴゲームで盛り上がりましたね。何時も笑声の絶えない研修でした。

住職様、役員の皆様お世話になりました。



移動中も大盛り上がり！



丹誠込めた魅懐石を満喫



息をのむ仏像群の数々を拝観

本年度第四回目となる九州・福岡の高級煎茶の「八女茶」が、妙心寺派靈巖寺様の檀家さんからなる農業法人「茶の実庵」から東日本大震災の被災者への支援物資として届けられました。先祖伝来受け継がれた段々茶畑が、一昨年の九州集中豪雨による土砂災害で大きな被害を受けたにも関わらず東北の被災者の方々に、自分達が丹誠込めて栽培したお茶で一服して少しでも「ホッ」と一息ついてもらいたいとの善意の贈り物です。

今年も大きなダンボール十二箱のお茶が、妙心寺派の岩手・宮城・福島三県十一ヶ寺を通じて、被災者に届けられました。感謝

## やめちゃ 八女茶復興支援



これで一服 温でも冷で



うらぼんせがきえ  
孟蘭盆施餓鬼会・新亡供養

〜戦後七十回忌英霊供養〜

戦死した兄三人のおかげ

富谷町 内ヶ崎末雄  
(旧姓 吉川)

英霊の七十回忌慰霊法要を営んでいただき、禪興寺と関係者の皆さんに感謝申し上げます。これで戦死した兄三人の末弟としては、大きな区切りがついたものと思っています。

今年の花園会の合言葉は『のおかげさま』とのこと。小生が大学まで進むことが出来たのは、兄達の遺族年金のおかげです。両親は年金の殆どを、小生の学費にあてたものと思います。

三人とも昭和十九年に二十代で亡くなりました。小生は七歳ですからほとんど記憶はありませんが、大切にしている思い出があります。

一番上の兄は陸軍で、中国大陸で戦病死していますが、小生が国民学校に入學する前に一度帰郷し、ランドセルと長靴を頂きました。



兄への思いを語る内ヶ崎さん

いずれも革製で、小生はこのランドセルを六年間背負いました。二人は海軍で、小生が県庁詰めの記者時代に調べましたが、一人は南方洋上で戦死としかわかりませんでした。ただ、なぜか高校時代に着ていたオバーは海軍のものでした。

振り返れば小生の人生は、若くして戦場に散った兄達三人と、両親のおかげと感謝しています。それにしてもし何の恩返しもできず、慚愧に堪えません。

禪興寺と花園会の皆様のご健勝を祈念しています。



遺品の制帽と遺影も展示

榎ノ木に 守られ眠る 三兄弟

御詠歌  
宮城刑務所へ

宮城刑務所で毎年開催される施餓鬼会法要に、禪興寺の御詠歌支部が初めて奉詠致しました。宮城刑務所の教誨師を務める住職が勤める法要に先立ち、清々しい御詠歌の響きが、多くの受刑者の方々の心に沁み渡ったのではないのでしょうか。ふだんめったに足を踏み入れることのない刑務所内に、刑務官に伴われ、緊張感一杯の皆さんでしたが、無事奉詠後は、ほっとした笑顔が満ち溢れました。



刑務所内史跡「蟠龍の松」前に

会員研修

ミュージカル「ブッタ」を鑑賞して

金取南 浅井 明美

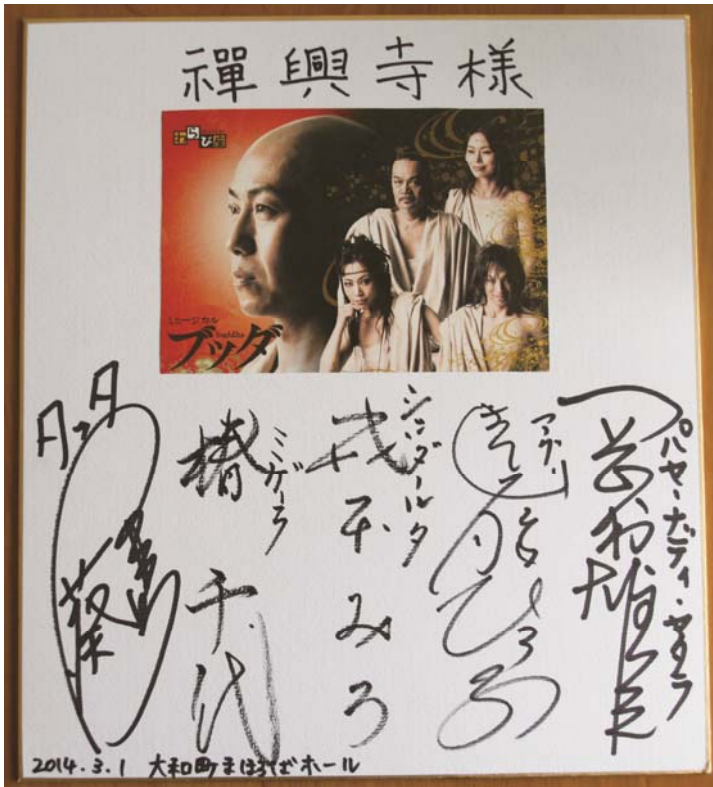
以前から、手塚治虫の「ブッタ」はすごくいいよ、と聞いていたことがあったので、私の姉から一緒に見に行かない？との誘いに、興味津々、ワクワク感を胸に見に行きました。

会場のまほろばホールには和尚様はじめ、たくさんの方が禪興寺からもいらして大盛況でした。

最初は、原作の漫画との違いに戸惑いましたが、観ているうちにどんどんミュージカルの世界観に引き込まれて、いつの間にか自分が「ブッタ」エピソードの民衆の中にいるような感じがしました。

ブッタが今も私たちに生きる意味を問い続けてくれていいるような気がしてなりません。

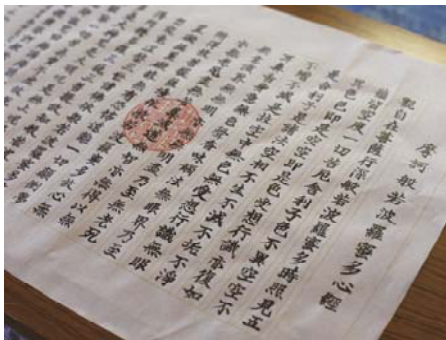
人間の原点を考えさせられ、とても感動しました。



出演者一同の貴重なサイン色紙をいただきました。  
ご覧になりたい方は禪興寺住職まで

今後の行事予定

- ◎12月6日(土)  
成道会・大般若祈祷
- 青壮年部・女性部忘年会
- ◎2月14日(土)  
涅槃会



写経会 7月12日開催  
いよいよ般若心経に初挑戦！



編集後記

日が暮れるのも早くなり、朝夕の肌寒さを一入に感じる今日このごろ、すっかり秋の到来ですね。  
広報「榎ノ木」も、はや第九号発行の運びとなりました。

役員改選により新体制が始まり、各種多様の行事が開催されました。参加した会員の皆様に感想等を寄せていただきました。快く原稿依頼に応じて協力いただき、ありがとうございます。

今後とも、青壮年部・女性部恒例となった行事へお誘い合わせの上、奮って出席、ご支援のほど、よろしくお願い致します。

- 広報部
- 部長 鶉橋初雄
  - 副部長 小川弘吉
  - 部員 佐藤 彰 早坂妙子
  - 浅井明美 浅野澄江
  - 相澤敏晴

発行  
禪興寺花園会青壮年部・女性部 広報部  
〒九八一・三六二五  
宮城県黒川郡大和町吉田字長福寺一  
電話番号 〇二二・三四五・二〇六三